昨今の配達に付

海陸軍合大演習に就ては特派員よりの報道續々本社に達し從て日々の紙面も廣さを要し去月末よりは日ごとして八頁以上の紙面を印刷し剩へ成る可く速に讀者に報道せんが爲め深夜來着したる報道をも掲載し且つ挿畫の彫刻にも時間を要する等にて昨今は新報の配達遲刻に相成り幾段深く讀者に謝する所に御座候乘て本年は配事の多きを察し本社にては新たに二臺の大器械を据付け既に運轉致し居り偏得共前配の次第もあり且つ發賣紙數の俄に增加したる爲め意外に不行屆を生じたる儀に付一昨日の處讀者の寛容を願ひ度目下夫れ〳〵手配中に付不日配達の遠かあるみと從前の通りに復し可申候右謹で讀者に謝す

時事新報

願德に訴訟

社會凡百の事項中、政治の綱り有力ゑして商賈其他諸社會を支配する日本の如き國柄にては政府一局部に長たる人の責任實に重大なりと云ふ可し我輩は去る十五日金融論の端緒に述べたるが如く明治二十年五月五日東京横濱の銀行者は當時銀貨紙幣慣を同うして財政の紊亂を告げ商況の繁榮翔して待つ可きの今日を致したるは大藏大臣の功德なりとて大臣を招待して頌德の宴を開きたるとあり銀紙の同價を致したるは時勢の然らしむる所もありて必ずしも大藏大臣の力のみに歸す可らずと雖ども平時重大なる責任を負ふ大臣の事なれば箇樣の場合に獨り其功を收むるとを得る其代りには彼の銀行者諸氏が翔して待ちたる商況繁榮の望も齟齬して金融切迫、株券下落の有樣を呈したる今日の如き場合に當りても亦その責に任せざるを得ず抑も目下金融切迫の原因並に救治策ゑ就ては世間種々の說あるが如くなれども兼て銀行者仲間の中分なりとて我輩の耳にする所を聞けば從來日本銀行にては彼の融通割引の事を許して或る部分の金融を通じ又貸附法も厳ならずして期限來りて其證書を割き換ふれば抵當據ゑ置きにても苦しからざりし例もあり凡そ此邊の好都合ありしが故に世間一般中に就きて銀行者は其金の廻り好きを見込み之が爲め會社も起り又その會社株をも負ひ込みたる次第にして其事柄たる固より銀行業の正則には非ざる可く云はば金融の遊ぶるものならんと雖も逆に流れたる水にても俄に之を遏りて順に復せんとするみともあれば愛に激變を生ずるは數の見易き者ゑして日本銀行復興の方法不幸にして漸に因らざるが故に今日の金融切迫を見るに至りたるなり云々ゑど唱ふる者あるが如し此等は單に其一端あれども東京横濱の銀行者は日々其局面に當りて實際の情狀、救治の方法、必ず成見あるみとあるべく金融切迫の原因は兎も角も其救治の方法に就ては重もに日本銀行邊の手加減に因るものあらんなど云へる見込もあらば銀行者は同力協議して義きに大藏大臣の德を頌したると同じく今度は金融上に就き其窮苦を訴へて可ならん何となれば日本銀行は云はゞ大藏省の機關にして大臣の意見は自から行内ゑ行はれ行の總裁が大臣と意見を異にするみともあれば大臣は稱て之を換ふ可きみと既に前例もあるみとなれば銀行者の陳情訴窮も此際自から其効なきに非ざる可し是時德を頌したる者は今時その窮を訴ふるに於て何かあらん曾少しく代會流に似たれども大臣とても人の事りたる頌德表に當るに權利あれば其訴窮を聽くの義務もある可し我輩は京濱銀行者の今日ゑ至るまで策の此に出でざると見て前後對照、孰か不審あり能はざる者あり

雜報

○名古屋市内の混雜　今回の大演習に關する機密を洩れ聞きて府下の新聞社に通報したるものあり由なれど若し此の機密にして新聞紙上に顯れざる演習全體に一方ならぬ影響あれば其新聞社は痛く懲戒する等なりと聞く既に本紙の上にも記載し置きしが尙ほ後報ゑ據れば去る二十九日の朝五時頃名古屋市街は一時非常に混雜し又狼狽したるものもありしといふとも二十九日は天皇陛下の名古屋本營を發して半田へ行幸遊ばさるゝに就き當日右兩地間には通常列車の往復を差止むる事となりたるを以て諸傾者は其前日即ち二十八日に半田へ赴かざるべからず尤も當初各新聞社の特派員は二十九日午前名古屋發の臨時汽車に乘組む事の許可あるべき樣傳なりしも餘りに特派員の人數多き爲め悉く乘車すること叶はず終に特派員の半數は廿九日の朝も名古屋市中に滯在し居たる處其朝の五時頃より俄ゑ同市内騷々しく警部巡査の往來繁しく如く停車場より大本營迄の道筋は人馬の往來を禁じ巡査の配置も陛下行幸の節と異ゐらずして俄に主上御還幸遊ばさるゝやに傳ふるものさへあり風說區々にして一ならざれども殊ゑ此の俄かの御還幸は彼の特別方略の漏洩して互の戰機も知れ渡りたれば大演習は中止せられて終に御還幸遊ばさるゝならんとの風說高かりし處暫くにして右は電報の問違に出でたる事分りて常の有樣にとは復したれど此時早や午前八時を過ぎたれば周章て停車場に駈け付けたるものもありし由尤も此の特別方略の事に就ては兎角の風說もありて當初の規定より多少變更せし所あるべし

○第一回日本醫學會の發會式　兼て本紙に記せし如く一昨日午後三時より京橋區木挽町厚生館に於て第一回の發會式を挙行したり仝日館の正面へは故關化先生前野良澤氏が揮毫に係る扁額の週圍を生花にて飾り之を中央に高く掲け左右に芝蘭堂新元會の幅軸、鵬齋杉田、碧水大槻、月池桂川等の諸先生にして昔時醫學を以て鳴りたる大家の肖像筆跡及出版の書籍又其當時賜ひ得たる關書等を陳列して神酒を供せり時到りて奏樂あり續て岩佐純氏は立て開會の趣旨を述べ石黑忠悳氏は本邦醫學の今日ゑ隆盛を見るは愛に陳列したる先輩の力ゑ依るべし故に會員諸君と共に其鞭に向て敬意を表すると云ふ意旨の祝辭文を朗讀し次に長與衛生局長は獨逸中津藩前野良澤先生が鐵砲洲の同藩邸にありて始て蘭學に從事したる履歷を演說し先生の如きは豈唯日本醫學の祖師のみならず政治に法律ゑ其他百般の事物に於て今日の文明を買ひたるは齊しく先生の力にあらずして何人ぞや果して功ある文明の師たりとせば宜しく日本政府に乞て贈位の恩典ゑを願はしき次第ありとの結論に滿場拍手喝采同意を表したり依て長與局長は内務大臣に向て贈位の恩典を請求する願書の草案を朗讀したるに之れ又滿場異議なきに付日本醫學會員の總代として同局長より右の願書を進達する旨を告げ閉會せしは午後四時前後なりしと又當日は田中警視總監、辻文部次官、松本軍醫總監、神田議官、海陸兩軍醫を始め各地方の會員等にて階上階下共に立錐の餘地あき盛會なりし因に記す館の階上には曾員諸氏の所製品を陳列して縱覽に供し又別室ゑ於て嶋村耕林其他外科用の器械を始め醫師の使用する必要品販賣所の設もありしと

○靈系業務問會　同會は一昨日午後二時より農商務大臣及前田省丁務局跡の空室に於て開會し岩村農商務大臣其他高等官等參席し大臣は各醫系業組合委員に向ひ今回諸君を招集したる譯は當省に於て醫業上の儀ゑ付諸問する等ありて委細は前田次官に依托したれば同官の諸問に就て答辭ありたしと述べ前田次官は今回の諸問を岩村大臣より依托されしゑ付小官は是迄の諸問會の如く何番驛員なとゝ臨場の體裁をなさず諸問する見込に付諸君に於ても疑話會の如く充分意見を吐露せられんみとを希望す又今日は時間もゐれなければ是迄にて閉何すべき旨を告げ午後七時より何れも同次官の宮舍に集會して疑話を爲したるよし

○觀石會と骨董書畫展覽會　觀石會は谷中の天王寺に骨董書畫展覽會を催せり庭園は高燥にして且つ手廣く樹木幽邃の間櫻樹大小數十株今を盛りに咲き亂れたる樣は恰も白雲のたなびきたる思ひあり氏か住家の樓上樓下及庭園の樹間には幾百の球燈を吊し又庭池に沿ひ或は花深き處を攀んで掛茶屋數箇所を設ひ日本料理あり西洋料理あり茶番所あり下戸上戸、客の氣慾に任せ藝妓二十餘名をして其間に周旋せしめたり餘興には大神樂、手品などの催しもあり或は藝妓の薩摩踊り茶番狂言もありて内外人の來賓驚れも打興し晩景に至り一同興散したりと云ふ

○縣廳の盡力　横濱市高嶋町たる横濱市高嶋町二丁目の縣廳に付ては淺田神奈川縣書記官二名を内務省に派遣し急許可の指令あらんといふ

○縣知事へ謝辭　横濱市へ交付し同市へ交付する事に決し且知事へ謝辭を呈せんと

○新橋横濱間汽車時刻（表）

等級	上等	中等	下等
賃銭	一円九十銭	一円二十銭	九十銭

（横浜発）午前六時三十分、八時、十時、十一時、午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、七時、八時、九時、十時、十一時

（横浜発）午前六時、七時、八時、九時、十時、十一時、午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、七時、八時、九時、十時、十一時

○新橋神戸間汽車時刻（表）

等級	上等	中等	下等
賃銭	一円九十銭	一円二十銭	九十銭

（神戸発）午前六時、七時、八時、九時、十時、十一時、午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、七時、八時、九時、十時、十一時

（神戸発）午前六時、七時、八時、九時、十時、十一時、午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、七時、八時、九時、十時、十一時

○上州湯道乗車時刻（表）

（高崎発）午前六時、八時、十時、十一時、午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、七時、八時、九時、十時

（高崎発）午前六時、七時、八時、九時、十時、十一時、午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、七時、八時、九時、十時

○仙臺線道　上野仙臺間汽車時刻（表）

（上野発）午前六時、十時、十一時、午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、七時、八時、九時、十時

（仙臺発）午前六時、七時、八時、九時、十時、十一時、午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、七時、八時、九時、十時